



いちょう

(題字 : 6年 佐川龍平)

令和2年6月10日

No.14号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸哉

<児童数 204名>

TEL 623-6019

3つのC **Chance Challenge Change**

～「全校朝会（校長講話）」6/9（火）～

昨日の全校朝会の様子をお伝えします。

プロジェクトチーム委員会の企画による全校朝会も2回目。集合や整列も頑張っています。各委員会も軌道に乗せるべく始まったばかりです。各委員や委員長にとっては、神経の使う「しごと」です。悩みもたくさん生まれるでしょうし、挫折しそうになることもあるでしょう。でも、あきらめない。くじけない。ささえてくれる仲間がいます。一緒に取り組んでゆける仲間がいます。そう信じます。



おはようございます。

児童代表、6年の進藤葵さんの元気でさわやかなあいさつが体育館に響き、楽しく張り切って過ごす一日の良いスタートになりました。マスクをしたり、体温を測ったり、距離を取ったりする「新しい生活様式」ですが、みんなで、コロナを乗り越えてゆきましょうね。先週の全校朝会は、先生方を含め転校してきたお友達や1年生をあたたかく迎えてくれました。心がほかっとする瞬間でした。ありがとう。各委員会の仕事も少しずつ始まり、学校の「くらし」が少しずつ充実してきているなあと思います。特に、代表の6年川合海音さんの紹介にあった「つながり」と「自主性」を意識した活動がたくさん見えて嬉しくなりました。昼の校内放送や副校旗の掲揚、グラウンドの白線引き、そして朝会の準備、清掃やあいさつなどなど。また、長かった臨時休校もあけ、教室での学習も少しずつ軌道に乗ってきましたね。「いちょうの子」を目指して、みんなで力を合わせて、頑張ってみましょう。

さて、この前お約束した通り、今日は、「3つのC」についてお話をします。

この3つのCは、先ほどのコロナを乗り越えていく「新しい生活様式（もっと言えば「新しい日常」）」に大きく関係するものです。

1つ目は、「チャンス（Chance）のCです。」

絶好のチャンス！チャンス到来！などと言うように、「ちょうど良い時」「タイミングの良い時」、そういう「時（機会）」のことを言いますね。「春はチャンスの時です。」なぜでしょうか。「新しい出会い」があるからです。「新しい枠組み」になるからです。同じように、このコロナの難局も「いろいろ考えて工夫できるチャンス」です。「できない理由を探すのではなく、できる工夫を探す」ことが何より大切です。そう言う意味での「チャンス」です。もう一度言います。「できない理由を探すのではなく、できる工夫を探す」チャンスです。

2つ目のCは、「チャレンジ（Challenge）」のCです。

チャンスを活かすときに大切になるのが、チャレンジです。チャレンジとは、挑戦すること、挑むこと、前向きに取り組むことです。大きい目標に向かうことだけではなく、ちょっとしたことやこれまでやろうと思っていたけど取り組もうとしなかったこと、何らかの理由で取り組めなかったこと、新しくやってみたいなあと思っていることに前向きに取り組むことを「チャレンジ」といいます。そう言う意味で、チャンスの時に、チャレンジするのです。

『千里の道も一歩から』ということわざがあります。長い道のりも、初めの一歩を歩くことから始まるということから生まれたことわざで、「どんなに大きな目標でも、身近なことから少しずつ積み重ね、努力してゆくことが大切である、そうすれば目標が叶うという教え」です。ですから、初めの一歩が大切になるわけです。その初めの一歩が「挑戦・チャレンジ(Challenge)」です。まず、動き出してみること。臆病にならずに、まず、「一歩」動き出してみることです。そして、うまくいかなくても、あきらめずに挑み続けること、「チャレンジ」し続けることです。

そうすると、今度は、3つ目の「C」が見えてきます。

3つ目の「C」は、「チェンジ (Change)」の「C」です。

「チェンジ」とは「変わる」「変化する」「新たになる」ということです。よりよい自分に「変わる」、よりよい自分に「変化」する。言葉を換えれば「よりよい自分に成長する」と言うことです。チャレンジしたからこそ、チェンジするのです。

もう一度言います。チャレンジしたからこそ、チェンジするのです。

チャンスを逃さず、目標を立て、チャレンジをして、自分を高め、チェンジしてゆく。これからの学校生活で、この「3つのC」を大切にしていってほしいと願います。校長先生も、この「3つのC」を大切に歩いてゆきたいと思います。そういう一年間になればと思います。先生方も、そういう気持ちで一緒に励んでほしいと願います。

最後に一つ、詩を読んでもみます。みなさんは、何を感じますか。

人 ～ロボット～

なぜ 自分が うごくのか
なぜ 自分は とまるのか
それを 知らない かなしいもの
それは ロボット

なぜ 自分が おどるのか
なぜ 自分は うたうのか
それを 知らない かなしいもの
それは ロボット

花の うつくしさも
風の あたたかさも
人の すばらしさも
気づけずに ただ そこにいるだけ

花の さびしさも
風の きびしさも
人の みにくさも
気づけずに ただ そこにいるだけ

ひとは
ひとは ひとり
なぜ ここに 生きるのか
なぜ ここに 学ぶのか

ひとは
ひとは ともに
なぜ ここに いきるのか
なぜ ここに 学ぶのか

おのれ 自身で つかみとる
ひとと ともに つかみとる

それでは、みなさん、健康に留意して、チャンスを生かして、チャレンジして、よりよい生活や自分にチェンジしてゆきましょう。

お話を終わります。

こんな内容の話をしました。「目と耳と心」で聴こうと努力している204名の子どもたち。一年生には難しかったかなと思いましたが、真剣に聞き入っている姿に「これから過ごす1年間の期待」を寄せたのは私だけではなかったと思います。第四小学校の子どもたち、教職員、保護者、地域皆さまの一年が、本当に幸せであるよう、心をこめて歩みたいと思います。

(校長 日高 伸哉)